

# 城西病院で避難訓練

城西病院で12月7日、避難訓練が行われました。非常時に入院している患者さまなどが安全に避難できるよう、毎年定期的に行っています。

今年は、職員の数が少なくなる当直時間帯に、回復期リハビリテーション病棟の病室から火が出たという想定で実施しました。

第一発見者の患者さまは、すぐに当直看護師に火災の発生を知らせました。看護師は事務当直者に連絡。事務当直者は消防に連絡し、看護師は火災報知機を鳴らして火災発生を伝えました。各病棟から発生場所に駆けつけた職員は、自力歩行の可能な方は安全に気を付けて非常階段を降りていただき、自力歩行できない方は職員が抱えるなどして、病院の外に避難しました。

城西病院では今年、スプリンクラーの設備を一新するなど、防災に万全を尽くしています。

平成30年12月11日

